

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====

- 【ソフト名】 SST G1 Lite2 アップデートインストーラ
- 【対象製品】 SST G1 Lite2 日本語版
- 【登録名】 SST G1 Lite2 Ver.1.1.2
- 【アプリケーション名】 setup.exe
- 【著作権者】 株式会社カンバス
- 【動作環境】 Microsoft Windows 7/ 8 / 8.1 / 10 / 日本語版
- 【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。  
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。

=====

<Ver.1.1.2> 2017.08.16

## 本バージョンアップによる変更内容

※※※重要なお知らせ※※※ 必ずお読みください！！ .....	2
1) 機能追加.....	2
●再生モードの機能切替.....	2
●再生モードの機能.....	2
●ファイル指定先フォルダの記憶.....	3
●ABトラックの入替機能.....	3
●ショートカットキー設定.....	6
●ユーザー設定.....	11
●最終チェック.....	16
●Netflix用データチェック.....	20
●映像とタイムコードの同期、画面調整.....	21
●吹替台本制作支援ソフト「SSTG1 Dub」（有償オプション）.....	21
2) 仕様変更.....	21
3) 機能修正.....	22
4) ドングル更新手順.....	24

## ※※※重要なお知らせ※※※ 必ずお読みください！！

新製品「SSTG1 Dub」の発売に伴いセキュリティ設定を再構築したため、本バージョンをご利用いただくには「必ず」dongle更新が必要となります。dongle更新をせずに、新バージョンを利用した場合、編集機能等主たる機能がご利用できなくなるほか、その他、不具合が発生する可能性があります。

従いまして、アップデートバージョンをご利用になりたい方は、まずは 4) Dongle更新手順 にてdongle更新をお申し込みいただければと思います。

上記トラブルを回避するため、当面は、dongle更新が完了された方のみに、新しいLite2のインストーラーを提供させていただきます。また、dongle更新後は、現在のVer1.1.1で編集作業ができなくなりますので必ずすべてのパソコンのSSTG1 Lite2を新バージョンにアップデートして下さい。

### 1) 機能追加

#### ●再生モードの機能切替

—新再生モードにおいて、従来の機能（倍速再生モード）と今回の機能（倍速再生音声認識モード）を[設定]メニューの「再生速度 x2.0 で音声の高さを維持」で切り替えられるようになりました。

#### ●再生モードの機能

—本バージョンより、新再生モードにおいて、倍速再生時に音声認識できるようになりました。

—従来は倍速再生もしくはスロー再生にてキーを長押ししていなければなりませんでした。本バージョンより、どちらのモードでも、**↑もしくは↓キーを押しっぱなしにする必要はなくなりました。**

- 再生方法は従来通りスペース、F11、F12、→キー長押しです。
- 再生中に↑キーを一回押す もしくは ↑キーを押してから再生 をすると倍速音声再生に、再度↑を押すと元の再生速度に戻ります。
- 再生中に↓キーを一回押す もしくは ↓キーを押してから再生 をすると1/2スロー音声再生に、再度↓を押すと元の再生速度に戻ります。
- 一度再生を停止すると、元の速度に戻ります。

- →キーの長押し再生の際は、→キーを押している最中に↑または↓を押すと再生速度が変わり、再度↑または↓を押すと元の再生速度に戻ります。
- 従来の早送り（↑+→の同時押し）を使用する場合、先に↑を押しても早送りにならないので、先に→を押してから↑を押してください。従来のスロー再生（↓+→の同時押し）についても同様です。
- WMV ファイルは倍速再生・スロー再生はできません。（SSTG1 モード時）
- 巻き戻しの倍速再生・スロー再生は、以前のバージョンと同様に動作保証対象外です。

## ●ファイル指定先フォルダの記憶

—ファイルの保存先や出力先フォルダ指定画面にて、**前回指定したフォルダを記憶するようになり**ました。

ファイルの保存画面やインポート・エクスポート画面など、フォルダを指定する画面において、前回指定したフォルダが記憶され、次回開いた際にあらかじめ指定されるようになりました。これまでは、すべての機能で共通して記憶されておりましたが、本バージョンから機能ごとに独立して記憶されます。

例) sdb ファイルを開いた後、映像ファイルを開く場合

これまでのバージョン：開かれるフォルダが、sdb ファイルを開いたフォルダになる

本バージョン：開かれるフォルダが、前回映像ファイルを開いたフォルダになる

## ●ABトラックの入替機能

—AトラックとBトラックの字幕を入れ替える機能を追加しました。

従来はAトラックの字幕をBトラックに移したい場合、AトラックとBトラックが重なっていると、[Aトラック（Bトラック）にコピー]機能が使えませんでした。

今回のバージョンからは、ABトラックが重なっている場合、入れ替え元の字幕と重なっている全ての字幕を対象にハコを入れ替えられるようになりました。ただし、入れ替える相手の字幕が、入れ替え元の字幕以外の字幕と、入替後に重なってしまう場合は入れ替えることができません。

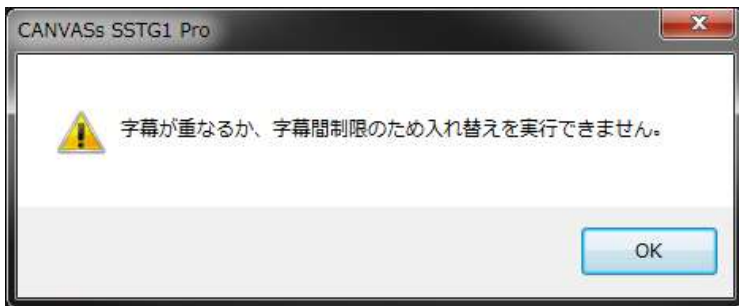
波形データ上の AB トラックが重なっているハコを選択し、右クリック→[A トラック（B トラック）の字幕と入れ替える]で入れ替えることが可能です。

なお、AB トラックが重なっていない箇所ではこのメニューは選択できません。

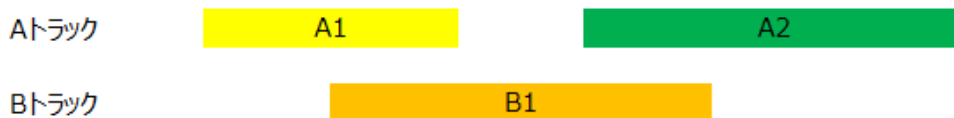
入れ替えの仕様については、次ページの<例>をご覧ください。

※注意

入れ替え後の字幕の位置が、[ユーザー設定]-[ガイドライン]の「字幕の間隔」の「強制」に設定されたフレームの数値に該当する場合、以下のメッセージが表示され字幕を入れ替えることはできません。



<例1>



- 入替可能
  - ①B1 を選択し、Aトラックと入れ替えすると、B1 がAトラックへ、A1・A2 がBトラックへ入れ替わる。
  - ②A1 とA2 をAltもしくはShiftで複数選択した状態で、Bトラックと入れ替えすると、A1・A2 がBトラックへ、B1 がAトラックへ入れ替わる。
- 入替不可
  - A1 を選択し、Bトラックと入れ替えすると、B1 はA2とも重なっているため入れ替え不可となる。

<例2>

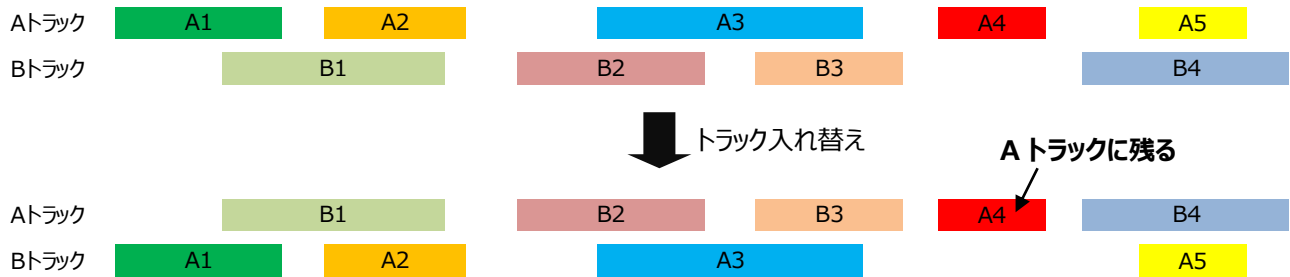


- 入替可能
  - ①B1 を選択し、Aトラックと入れ替えすると、B1 がAトラックへ、A1~4 がBトラックへ入れ替わる。
  - ②A1~4 をAltもしくはShiftで複数選択した状態で、Bトラックと入れ替えすると、A1~4 がBトラックへ、B1 がAトラックへ入れ替わる。
- 入替不可
  - A1のみを選択し、Bトラックと入れ替えすると、B1 はA2~4とも重なっているため入れ替え不可となる。同様に、A2、A3、A4をそれぞれ単体で選択しても入れ替え不可となる。

<注意すべきケース>

複数選択でトラック入れ替えを行う際、その中に入れ替え相手がないハコが含まれていると、そのハコは入れ替えが行われずに元のトラックに残ります。

[例]



上記ケースで A1～A5 のハコを複数選択して「Bトラックの字幕と入れ替える」を行うと、A4 のハコだけは入れ替え相手のハコがないため、入れ替わらず Aトラックに残ります。

## ●ショートカットキー設定

ーショートカットキー設定において設定項目を追加しました。下記の項目にショートカットキーを設定することが可能です。

青字：ショートカットキー追加項目、緑字：新規追加機能

カテゴリタブ	操作	デフォルトのキー	備考
ファイル	新規作成ウィザード		
	新規ファイル	ctrl+n	
	プロジェクトファイルを開く(開く)	ctrl+o	
	プロジェクトファイルを閉じる		
	上書き保存(保存)	ctrl+s	
	名前を付けて保存	ctrl+shift+s	
	SSTG1用に24Frで保存		
	映像ファイルを開く		
	映像ファイルを閉じる		
	レンダリングダイアログの表示		
	ユーザー設定ダイアログの表示		
	アプリケーションの終了		
編集	元に戻す	ctrl+z	
	やり直し	ctrl+y	
	切り取り	ctrl+x	
	コピー	ctrl+c	
	貼り付け	ctrl+v	
	クリア(消去)	ctrl+delete	
	全て選択(すべて選択)	ctrl+a	
	属性を含めてコピー		
	属性を含めてペースト		
	別トラックにコピーペースト		
	AトラックとBトラックの字幕を入れ替える		
ブックマーク	ブックマークの設定/解除	ctrl+F2	
	ブックマークのクリア	ctrl+shift+F2	
	ブックマーク一覧の表示		
	次のブックマーク	F2	
	前のブックマーク	shift+F2	
	ブックマークのエクスポート		
	ブックマークのインポート		

(続き)

設定タブ	操作	デフォルトのキー	備考
字幕	字幕削除ダイアログの表示		
	字幕番号の振り直しダイアログの表示		
	字幕移動ダイアログの表示		
	字幕情報一括削除ダイアログの表示		
	字幕番号の設定ダイアログの表示(現字幕)		
	字幕番号ジャンプダイアログの表示		
	現字幕を分割		
	後ろに存在する字幕と結合		
	文字カウントダイアログの表示		
	空のデータをリストの最後に追加	Insert	
検索等	字幕検索(検索)	ctrl+f	
	次へ検索	F3	
	前へ検索	shift+F3	
	置換	ctrl+h	
	フォーマット検索のダイアログの表示		
	検索属性指定ダイアログの表示		
	sdb 検索ダイアログの表示		
ビデオ操作	再生/停止(再生)	F11	※1
	1フレーム次へ		
	1フレーム前へ		
	字幕再生/停止(字幕再生)	F12	※1
	逆再生/停止		※2
	2倍速再生		※2
	2倍速逆再生		※2
	1/2倍速再生		※2
	1/2倍速逆再生		※2
	指定時間戻す		※3
	次の字幕へ移動	PageDown	
	前の字幕へ移動	PageUp	
	先頭の字幕へ移動		
	最後の字幕へ移動		

(続き)

設定タブ	操作	デフォルトのキー	備考
ビデオ操作	表示スケール拡大		
	表示スケール縮小		
	表示トラックの切替え		
	インタイム・アウトタイムの設定		
	波形のセンターへ移動		
エフェクト	フォーマット設定のダイアログの表示		
	デフォルト・フォーマットリストの表示		
	ルビダイアログの表示		
	カーニング・レディングダイアログの表示		
	表示位置・行配置 ダイアログの表示(表示位置・行配置 ダイアログ)		
	行配置 (行頭)		※4
	行配置 (行末)		※4
	フェードイン・フェードアウトダイアログの表示(エフェクトダイアログ)		
	フォント色ダイアログの表示		
	イタリック		
	傍点		
	エッジタイプ (丸型)		
	エッジタイプ (角型)		
	エッジタイプ (シャドウ)		
	エッジ色ダイアログの表示		
	組文字		
	マスク(座布団)を付ける		
	マスク(座布団)の色の設定ダイアログの表示		
	自由位置		
	フォーマットをデフォルトに戻す		
	自由位置設定のみ解除		

(続き)

設定タブ	操作	デフォルトのキー	備考
TC	基本設定ダイアログの表示		
	フレーム落ち情報の設定ダイアログの表示		
	設定情報のクリア		
	フレームタイプ変換ダイアログの表示		
	ピッチ調整ダイアログの表示		
台本	原文ウィンドウにコピー		
	字幕ウィンドウにコピー		
	すべて表示の切り替え		
画面	ビデオウィンドウにフォーカスを移す		
	字幕入力ウィンドウにフォーカスを移す		
	原文入力ウィンドウにフォーカスを移す		
	波形ウィンドウにフォーカスを移す		
	台本ウィンドウにフォーカスを移す		
	字幕ウィンドウ内のコントロールフォーカス移動		※5
	コメントウィンドウに移動		
	字幕番号入力ウィンドウに移動		
	画面調整ダイアログの表示		
	全画面表示		
チェック	最終チェックダイアログの表示		
	チェックエフェクト解除		
	Netflix用データチェックダイアログの表示		
その他	ショートカットキー設定ダイアログの表示		
	バージョン情報		

※1：再生中に「再生」「字幕再生」スペースキーのいずれかを押すと停止します。（既存と同様）

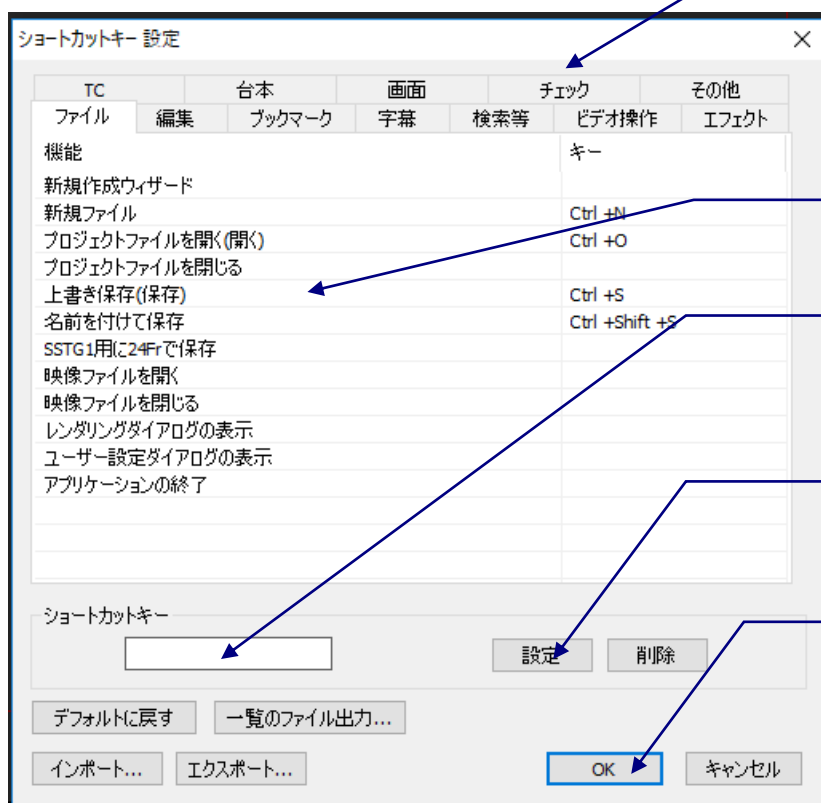
※2：設定したキーを押すと再生が始まり、もう一度押すと停止します。再生中に別のキーを押すと新たに押したキーの動きとなります。

※3：[ユーザー設定]－[詳細]タブの「指定時間スキップ」にて指定時間を設定します。詳細はユーザー設定の「指定時間戻す」の項目をご参照ください。

※4：横字幕、縦字幕どちらも「行頭」or「行末」に変更します。表示位置は変更されません。

※5：フォーカスの移動する順番は、原文入力ウィンドウ→字幕入力ウィンドウ→コメントウィンドウ→台本ウィンドウ→波形ウィンドウ

—ショートカットキー設定画面を一覧で見やすいように変更しました。



1. カテゴリごとに分かれているので、該当のカテゴリのタブを選択します。

2. 設定したい項目を選択します。

3. 割り当てたいキーを押します。押したキーが表示されます。

4. [設定]をクリックすると割り当てキーが設定されます。

5. [OK]をクリックします。設定後は必ずソフトを再起動してください。

[一覧のファイル出力] : ショートカットキーの一覧を csv で出力します。

[インポート][エクスポート] : エクスポートで出力したショートカットキーの設定をインポートで取り込むことが可能です。  
以前のバージョンのものも引き続きインポート可能です。

<ショートカットキーで設定可能な組み合わせ>

- ・ 単独キー : F1 ~ F12
- ・ 組み合わせ : Ctrl + 任意のキー  
Alt + 任意のキー  
Shift + 任意のキー  
Ctrl + Alt + 任意のキー  
Ctrl + Shift + 任意のキー  
Shift + Alt + 任意のキー

※Home キーと End キーの単独キー、組み合わせは設定できません。

※Page Up、Page Down の単独キーは設定できません。

※Ctrl + Page Up、Ctrl + Page Down は設定できません。

※Alt と以下の組み合わせは、すでにメニューバーからのショートカットで利用されているため、設定できません。

Alt+f /Alt+e /Alt+s /Alt+p /Alt+o /Alt+c /Alt+i /Alt+r /Alt+h

### ※設定時の注意

ショートカットキーを設定後にソフトを再起動せずに再度ショートカットキー設定画面を開くと、設定したキーが消えているように見えます。このときソフトを再起動すれば、設定したキーが表示されるようになります。しかし、ソフトを再起動せずにさらに新たなキーを設定した場合には最初に設定したキー設定は消えてしまいます。ショートカットキー設定を行い、設定画面を閉じた後は、必ずソフトを再起動するようにしてください。

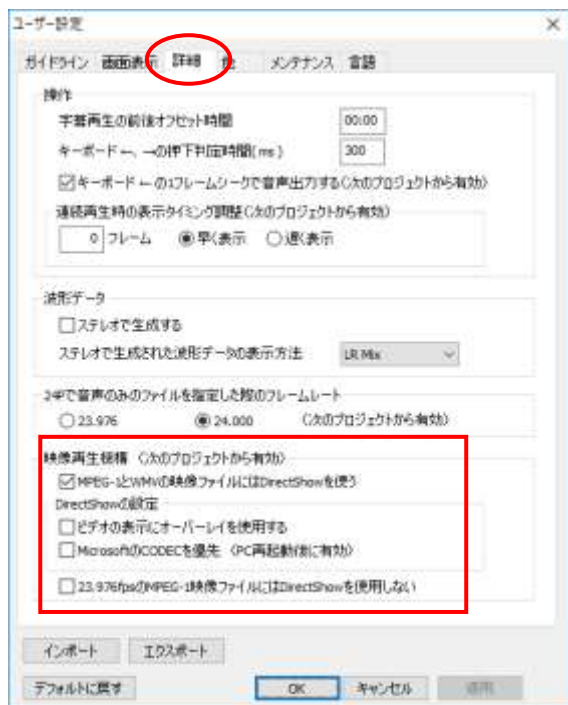
## ●ユーザー設定

### [再生]タブ

—[再生]タブを追加しました。

再生に関する項目は[再生]タブに移動しました。従来[詳細]タブにあった「映像再生機構」は[再生]タブに移動しています。

### ■従来の[詳細]タブ



### ■追加された[再生]タブ



－[再生]タブに音声再生の切り替えを追加しました。

一部の Windows10 の PC において、1 フレーム再生時と通常再生開始時にノイズが発生することがありましたが、ノイズが発生しないように対応しました。

再生開始時にノイズが発生する場合は、[ユーザー設定]－[再生]タブの「音声再生をソフトウェアに依存する」にチェックを入れてください。

## [ガイドライン]タブ

－1 行あたりの文字数において、組み文字は 1 文字としてカウントすることができるようになりました。

縦字幕の 1 行あたりの文字数において、組み文字は「1」文字としてカウントします。

[ユーザー設定]－[ガイドライン]タブの「字幕」－「文字数(/行)(縦)」の「組文字は 1 文字としてカウントする」にチェックを入れることで、組文字を「1」としてカウントするようになります。

## [詳細]タブ

－スペースキー押下時の再生の挙動が選択できるようになりました。

従来は波形ウィンドウ上のスポッティング内にカーソルがあるとき、スペースキーを押すとスポッティング内をリピート再生しておりました。

今回のバージョンから、スポッティング内でスペースキーを押下した場合、以下の通り挙動を選択できるようになりました。[ユーザー設定]－[詳細]タブの「カーソルが字幕内にあるときのスペースキーの挙動」にて設定が可能です。

- ・ 現字幕再生
  - ： スポッティング内をリピート再生し、再度スペースキーを押す もしくは スポッティングの終了位置でカーソルが停止する（従来通り）
- ・ ビデオ再生
  - ： カーソルの位置から再生を開始し、再度スペースキーを押すまで停止しない

－「指定時間戻す」機能を追加しました。

ショートカットキー設定したキーを押すと、指定の秒数分一気に戻ることができます。

- ・ 本機能を利用するには[設定]－[ショートカットキー設定]の[ビデオ操作]タブにある「指定時間戻す」にショートカットキー設定を行って下さい。
- ・ 設定したキーを押した際に戻る秒数は[ユーザー設定]－[詳細]タブの「指定時間スキップ」にて設定が可能です。



「1/3」「1/2」秒はフレームレートの設定により、戻るフレーム数が異なります。

例) 30Fr DF のプロジェクトの場合

1/3 秒 → 10 フレーム戻る      1/2 秒 → 15 フレーム戻る

※24Fr で、「1/3」秒を設定した場合

タイムコードの 10 フレームではなくダブリコマを含んで 10 フレーム戻ります。そのため、タイムコード上は 8 フレームだけ戻ります。

※25Fr の場合

1 秒を「1/3」「1/2」で割り切れないため、「1/3」で 9 フレーム、「1/2」で 13 フレーム戻ります。そのため「1/2」秒戻る設定で 2 回押した場合に、ちょうど 1 秒には戻らず 1 秒 1 フレーム戻ります。同様に「1/3」戻る設定で 3 回押した場合には 1 秒 2 フレーム戻ります。

## [言語]タブ

—多言語フォントの表示に対応しました。

一部の多言語フォント（ベトナム語、ラオス語、ミャンマー語）が、SSTG1 上で正しく表示されていなかった問題について、正しく表示されるように対応しました。

**※多言語フォントを使用しないとき（日本語や英語フォントなどを使用するとき）は全てのチェックを必ず外してください。チェックが入っていると、斜体などのフォーマットが正しく表示できません。**

※Unicode 対応のフォントにて検証を行っております。フォントによっては正しく表示されない場合がございます。

※ミャンマー語のフォントは、独自コードで作成されており Unicode 対応していないフォントが多いため、正しく表示されない場合がございます。独自コードで作成された字幕は、そのコードに対応したフォントを設定してください。

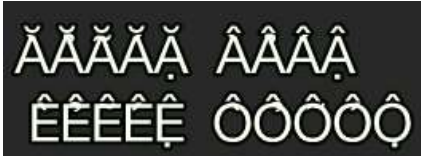
※Windows OS が正式サポートしていない言語は正しく表示されない場合がございます。（例：Windows7 ではミャンマー語のサポートがされておりません）

[設定] - [ユーザー設定] - [言語] タブから設定が行えます。

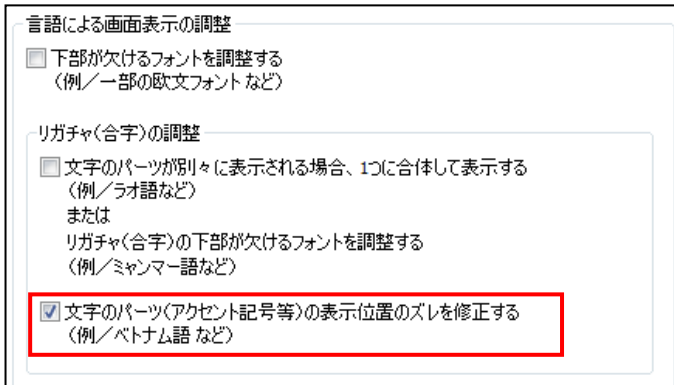
### ■ベトナム語

従来の表示

本バージョンより



ユーザー設定



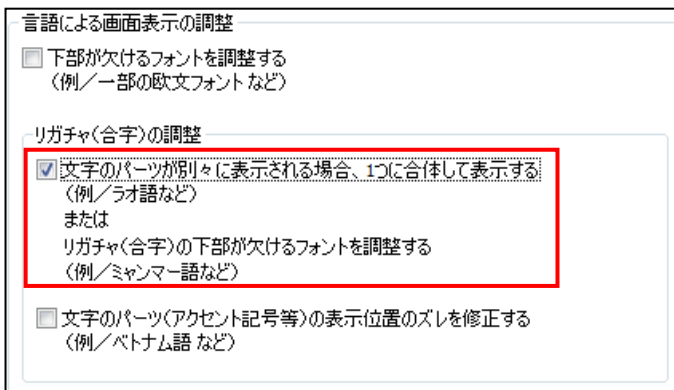
### ■ラオス語

従来の表示

本バージョンより

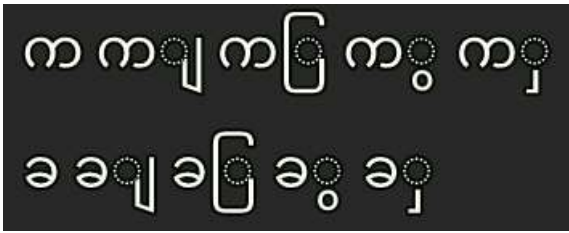


ユーザー設定



## ■ミャンマー語

従来が表示



本バージョンより



ユーザー設定

言語による画面表示の調整

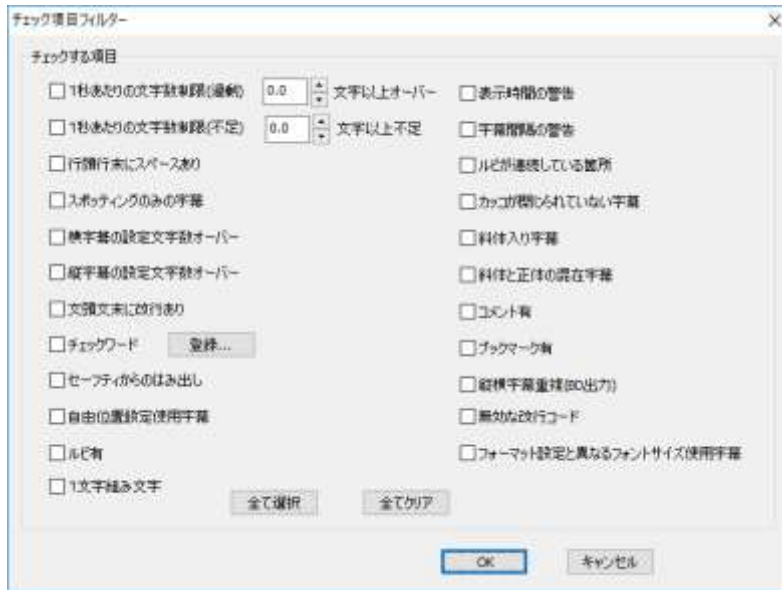
- 下部が欠けるフォントを調整する  
(例/一部の欧文フォントなど)

リガチャ(合字)の調整

- 文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する  
(例/ラオ語など)  
または  
リガチャ(合字)の下部が欠けるフォントを調整する  
(例/ミャンマー語など)
- 文字のパーツ(アクセント記号等)の表示位置のズレを修正する  
(例/ベトナム語 など)

## ●最終チェック

ー最終チェックの項目を追加しました。



(★は字幕 BOX にエフェクトあり)

チェックする項目	チェック内容	備考
自由位置設定使用字幕	自由位置が設定されている。	
ルビ有	ルビのある字幕	
1文字組み文字	1文字だけ組文字が設定されている字幕	※1
カッコが閉じられていない字幕	「」や[]などのカッコが閉じられていない。	※2
斜体と正体の混在字幕(★)	一部だけに斜体が設定されている。すべて斜体の場合はチェック対象外。	※3
無効な改行コード	通常とは異なる改行コードが存在。「文頭文末に改行あり」で検出される 通常の改行は検出されません。 修正方法は、全文削除し同一の字幕を入力する。コピー&ペーストは不可。	※4
フォーマット設定と異なるフォントサイズ使用字幕	デフォルトフォーマットで設定しているフォントサイズと異なるサイズが設定されている字幕	

※1：「1文字だけ組文字」のチェックについて

通常、組文字は縦字幕中で2文字以上の文字列を横に表示するためのものですが、誤って1文字だけで組文字属性をつけてしまうことがあります。その場合、見た目は何も変化がないため、気付かずに最終的なファイルを書き出すこととなります。そのまま cap ファイルや itt ファイルなどに書き出すと、本来、組文字属性の不要な1文字に組文字属性が付き、納品先でエラーになってしまうことがあります。

そのため、各ファイルのエクスポート前に本チェック機能をご利用いただき、このようなエラーの防止に役立てていただければと思います。

※2：対象のカッコの組み合わせは下記の通りです。全角と半角は区別されます。

- “”（全角・半角）
- []（全角・半角）
- 「」（全角・半角）
- 《》（全角）
- 『』（全角）
- ()（全角・半角）
- <>（全角・半角）

※3：改行マークの斜体指定の有無はチェック対象外です。

字幕がすべて正体で改行マークのみ斜体指定がある場合、および 字幕がすべて斜体で改行マークのみ斜体指定がない場合は「斜体と正体の混在字幕」と判定されません。スペースは「字幕」として判定されます。

※4：「無効な改行コード」のチェックについて

極稀に、Windows 標準の改行コードとは異なる改行コード（※）が入っている場合に、最終チェック機能にて検出できるようになりました（エフェクトは無し）。文頭・文末・文中を問わず、無効な改行コードが存在するかのチェックになります。

この無効な改行コードが検出された場合の修正方法は、全文削除後の同一字幕入力以外にありません。削除する際には、全文ドラッグでも問題ありませんが、ctrl+A で全文を選択し、Delete キーで削除するやり方をお勧めいたします。もちろん再入力ではコピー＆ペーストを利用しないでください。

「文頭文末に改行あり」で検出される通常の改行は、このチェックでは検出されませんのでご注意ください。

コピー＆ペーストやデータインポートなどが原因で、極稀に Windows 標準の改行コードとは異なる無効な改行コードが入ることがあることが判明しました。現時点で確認できている具体例は、中国語から日本語に翻訳した作品のうち、特定の個人が作成した s d b です。この改行コードはプレビューウィンドウや字幕ウィンドウ上の目視では確認できません。なお、この改行コードは、ファイル間のコピー＆ペーストやデータインポートなどに原因があり、通常の子幕入力では入ることはありません。

この改行コードが入ったまま CAP にエクスポートすると以下の赤枠のように、空行が入ります。

例／文末に無効な改行コードが入っている場合に、cap ファイルにエクスポートをした状態。

Lambda字幕V4	DF1+1	SCENE”和文標準”↓
1	00340715/00341806	字幕サンプル @斜3↓
2	00342005/00342508	字幕サンプル2↓

－「ルビ有」の追加により、最終チェック結果表示画面に「ルビ」の項目を追加しました。同一字幕内に複数ルビが存在する場合は間に半角スペースをいれて表示します。

済	トラック	字幕番号 またはTC	ルビ	字幕	チェック項目
<input type="checkbox"/>	A	1	きぎょう	ある企業が開発した	ルビ有
<input type="checkbox"/>	A	2	しんにゅう	スパイの一人 ジュリアも...	ルビ有

－チェック時に保存したか確認のメッセージが出るようになりました。

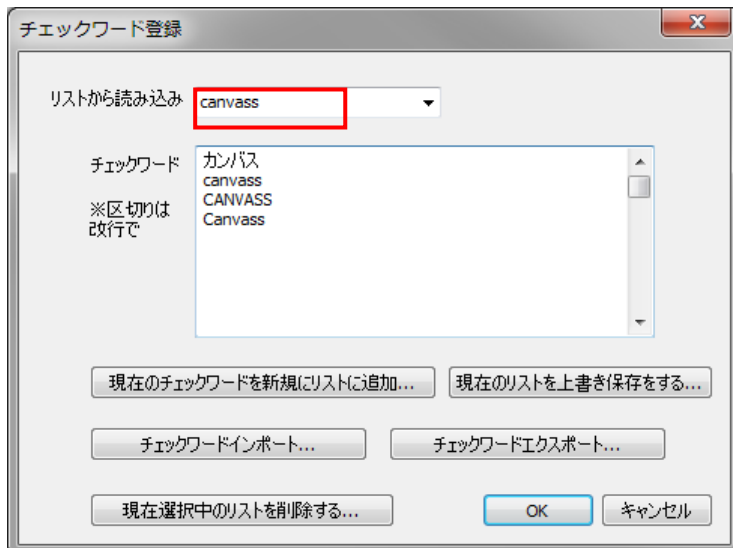
最終チェック画面を開き[Check]をクリックすると、「sdb を保存しましたか？」とメッセージが出るようになりました。

これにより、従来は[チェック]メニューから[最終チェック]を選択した直後に自動的にチェックが実行されていましたが、[Check]をクリックしてからチェックを実行するようになりました。

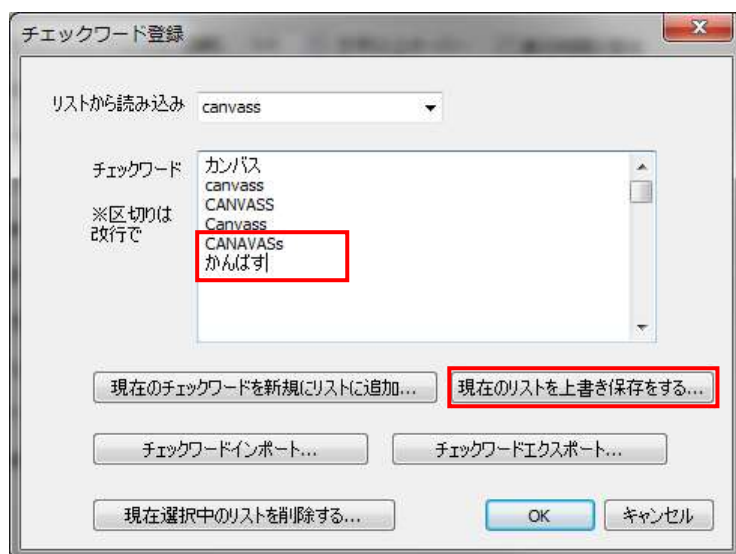
－チェックワード登録画面に上書きボタンと削除ボタンを追加しました。

#### ■上書き

①上書きしたいリストを選択



②チェックワードに追加したいワードを入力し、[現在のリストを上書き保存をする]をクリック

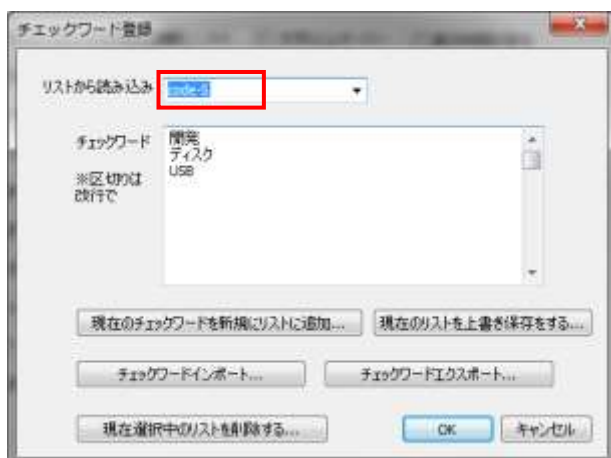


③以下のメッセージが出たら[OK]をクリック

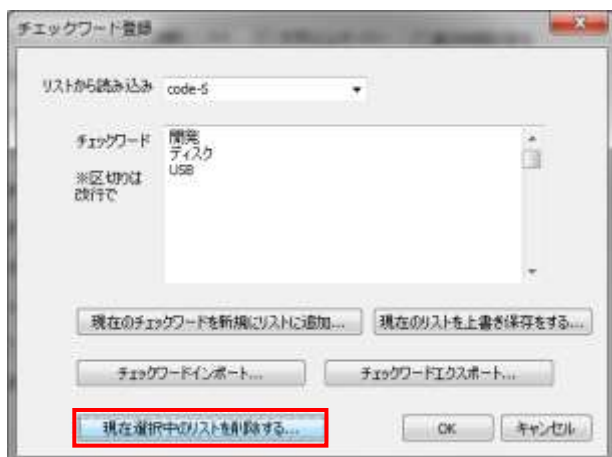


## ■削除

①削除したいリストを選択



②[現在選択中のリストを削除する]をクリック



③以下のメッセージが出たら[はい]をクリック



## ●Netflix 用データチェック

—Netflix 用データチェックの項目を追加しました。

最終チェックの項目の一部を、Netflix 用データチェック機能でも利用できるように追加しました。これにより、Netflix 納品用データに必要なチェックを「Netflix 用データチェック」だけで行えるようになりました。



画面表示内容	動作	チェック項目
自由位置設定使用字幕	エラー	自由位置が設定されている。
1文字組み文字	エラー	1文字だけ組文字が設定されている字幕。
無効な改行コード	エラー	通常とは異なる改行コードが存在。「文頭文末に改行あり」で検出される通常の改行は検出されません。 修正方法は、全文削除し同一の字幕を入力する。コピー&ペーストは不可。
斜体と正体の混在字幕	警告	一部だけに斜体が設定されている。すべて斜体の場合はチェック対象外。

## ●映像とタイムコードの同期、画面調整

－「映像とタイムコードの同期の基本設定」「画面調整」が前回の設定を引き継ぐようになりました。ファイルを新規作成する際、以下の項目が前回保存した sdb の設定を引き継ぐようになりました。sdb ファイルを保存せずに閉じた場合は引き継がれないのでご注意ください。

- [映像とタイムコードの同期]－[基本設定]のフレームレート
- [画面調整 (画角)]の[マスターテープ (映像素材)]と[目的モニタ (出力対象)]

## ●吹替台本制作支援ソフト「SSTG1 Dub」(有償オプション)

－本オプションソフトにより、縦書きの吹替台本 (Word データ) をはじめ、吹替業務を支援する様々なデータを生成することができます。また、SSTG1 シリーズ字幕データ (.sdb) のインポート/エクスポート機能を搭載しており、字幕⇄吹替間でのデータ活用が可能です。

## 2) 仕様変更

### ●波形の複数選択

－波形上でハコを複数選択した状態で、Alt キーで選択を解除しても選択する字幕を 0 個にすることはできません。

波形上でハコを複数選択した状態で、Alt キーを押しながらハコの選択を解除しても、すべての字幕の選択を解除することはできません。カーソル上にある字幕の選択が解除された場合は、カーソルはその字幕の前の字幕の Out 点に移動します。前の字幕が存在しない場合は、後ろの字幕の In 点に移動します。

### ●ユーザー設定（言語）

–タイ語の処理方法を変更いたしました。

・カンバスタイ語フォント（CANVASs THAI）については、現状、Windows7のみ対応しております。

・カンバスタイ語フォント（CANVASs THAI）以外のタイ語フォントの場合は、[ユーザー設定]–[言語] タブ–「リガチャ（合字）の調整」の「文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する」にチェックを入れてご利用ください。また、最終的に正しく表示されているかはユーザー様自身で必ずチェックしていただきますようお願いいたします。

### ●フォーマット検索

–フォーマット検索にて、Enter キーを押した際に、従来のバージョンでは入力可能状態になり改行が入力されることがありましたが、次の該当箇所にジャンプするように変更しました。

## 3) 機能修正

### ●映像ファイルの再生

–巻き戻し中にハコを選択が解除されない問題を修正しました。


←キーの長押しで巻き戻しをした際、カーソルがハコの外に出ても、次のハコにカーソルが進むまで前のハコが選択されたままの状態になっている問題を修正しました。

### ●フォーマット設定

–先頭から部分的に完全一致してしまうフォーマット名が存在した場合、フォーマット名が正しく表示されない問題を修正しました。

例えば「canvass」と「canvass\_16x9」というフォーマット名が存在していた場合、これまでのバージョンでは、「canvass」というフォーマットで設定をし sdb を保存しても、その sdb を開くとフォーマット名が「canvass\_16x9」と表示されていました。なお、フォーマット設定は「canvass」のものが設定されています。本バージョンからは、フォーマット名も正しく表示されるよう修正しております。

–「デフォルトに戻す」ボタンを修正しました。

これまでのバージョンでは、「デフォルトに戻す」ボタン  を押しても縦字幕のカーニング値、組文字設定が戻りませんでしたが、本バージョンより戻るように修正を行っています。

縦字幕のカーニング値は、「デフォルトに戻す」ボタンを押すと、フォーマット設定の「横書きのカーニング値」になります。

### ●波形の複数選択

－波形上でハコを複数選択すると、カーソルの位置に関わらずプレビューに表示されている字幕が先頭の字幕になっている問題を修正しました。

波形上で Alt もしくは Shift キーにてハコを複数選択した際、カーソルの位置が先頭の字幕でないにも関わらず、プレビューウィンドウに表示されている字幕が先頭の字幕になっている問題が発生しておりました。本バージョンより、カーソルの位置に存在する字幕がプレビューウィンドウに表示されるように修正を行っています。

－波形上でハコを複数選択した後、矢印キーでの連続再生ができない問題を修正しました。

波形上で Alt もしくは Shift キーにてハコを複数選択した後に、ハコをまたいで→キーもしくは←キーの長押しによる連続再生を行うと、ハコの手前でカーソルが止まってしまう問題が発生しておりました。本バージョンより連続再生できるように修正を行っています。

－波形上でハコを複数選択し、Aトラック（Bトラック）にコピーを行った後に選択されているハコが正しくない問題を修正しました。

波形上で Alt もしくは Shift キーにてハコを複数選択し、[Aトラック（Bトラック）にコピー]を行うと、先頭のハコの選択が解除されている問題を修正しました。

－波形上でハコを複数選択し、属性コピー&ペーストを行った際にペースト後に選択されているハコが正しくない問題を修正しました。

波形上で Alt もしくは Shift キーにてハコを複数選択し、[属性を含めてコピー]→[属性を含めてペースト]を行うと、選択されているハコが最後のハコのみになっている問題を修正しました。

### ●台本ウィンドウ

－ディスプレイの表示の拡大率を 125%（中）、150%（大）にした場合、台本ウィンドウのスクロールバーが表示されない、文字列の折り返しがされない問題を修正しました。

### ●フォーマット検索

－フォーマット検索画面を開き、何も選択せずに Enter キーを押すと検索画面が閉じて開けなくなる問題を修正しました。

### ●認証版の危機回避強化

－大幅な WindowsUpdate 等により、ハードウェア構成が変わってしまったと判断されるような場合において、SSTG1Lite2 認証版が一時的に使用できなくなる不具合が稀に発生しておりましたが、この不具合に対応しました。

ーソフト起動中に深夜0時を跨いだ場合、チケット期間内であるにも関わらず「ご利用可能なライセンスを確認することができません」というメッセージが出る、Lite2 がフリーズする等の事象が発生していましたが、こちらについて正常な動作をするように修正しました。

チケット有効期限内であれば深夜0時に「ライセンスチェック中」と小さなウィンドウが出ますがすぐに消えます。

**【現象回避用プログラムを適用されているユーザー様へ】**

Program Files(x86)¥CANVAsS SSTG1 Lite2 に「AuthContentManager.dll」を配置している場合、「AuthContentManager.dll」を削除してください。

## 4) ドングル更新手順

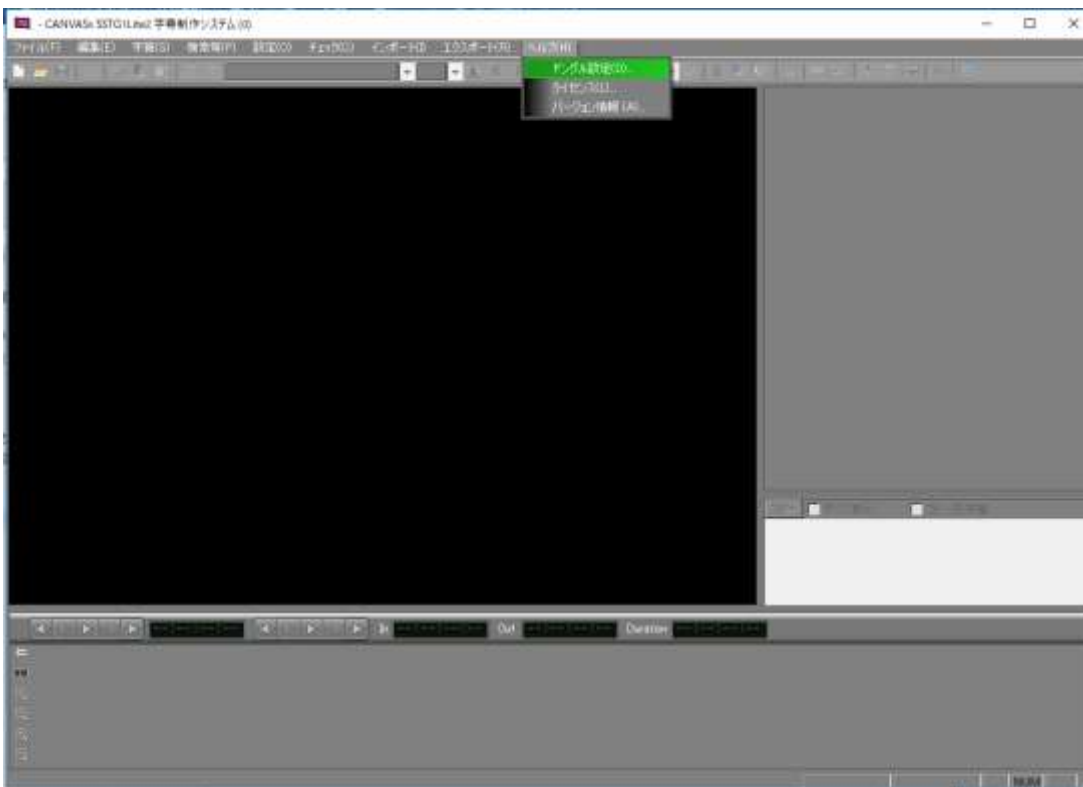
### 【ドングルの設定】

**\*更新するドングルを挿してください。**

①ソフトをダブルクリックして立ち上げます。

※プロジェクトファイルも映像データも開かないで下さい。

②[ヘルプ] メニューの [ドングル設定] をクリックします。

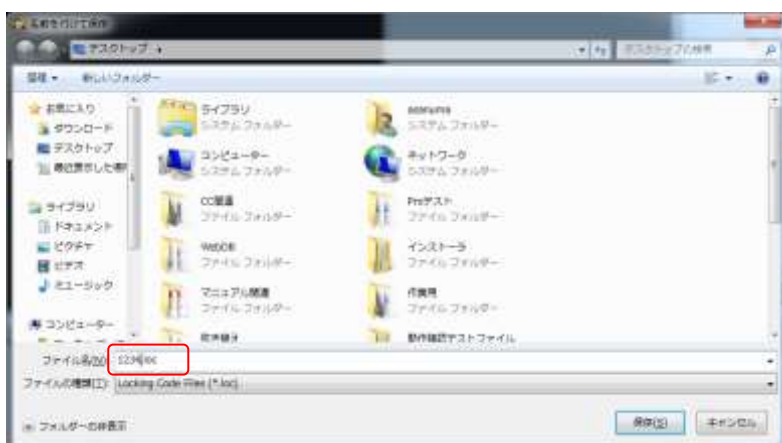


③[ロッキングコード取得]をクリックします。



④[ロッキングコードファイルを作成しますか?] とメッセージが出るので、[はい]をクリックします。

⑤dongle番号 ( i + 数字またはアルファベット混合の4桁の番号) をファイル名として入力し、保存先を指定してください。



※ファイル名にあらかじめ「\*.loc」が入っている場合は削除して、名前を付け直してください。

⑥ ロッキングコードが入っていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



⑦ 保存先に、.loc ファイルが出来ます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。

メールアドレス sales@canvass.co.jp



⑧ 株式会社カンバスから、.lic ファイルを添付したメールが来ます。このファイルをパソコン上に保存してください。



⑨ ②を参考に、[ dongle設定 ]のダイアログを表示し、[ファイル読み込み]をクリックします。



⑩ lic ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



⑪ ライセンスコードが入っていることを確認して、[ドングル書き換え]をクリックします。



⑫ ドングルの書き換えが完了しました。

**【ご注意ください！】**

更新済みドングルでは Ver1.1.1 はご利用いただけません。

複数のパソコンでご利用されている場合、ドングル更新が完了しましたら、すべてのパソコンの SSTG1 Lite2 を Ver1.1.2 以降にアップデートしていただくようお願いいたします。

以上